みんなの力で
あずましい
まちづくり

市民参加型まちづくり１％システム
平成 27 年度２次募集を開始します

市では、個人市民税の１％相当額を財源に、市民自らが地域を考え企画・実践する活動に必要な経費を助成する、「市民参加型まちづくり１％システム」を実施しています。

４月から２次募集を行いますので、皆さんのアイデアや経験を生かした事業の提案をお待ちしています。

▽**２次募集期間**　４月 13 日～５月 12 日

▽**事業実施期間**　７月１日～平成 28 年３月 31 日

▽**申請方法**　所定の書類を市民協働政策課へ直接持参してください。募集条件などの詳細や申請書類は、同課で配布するほか、市ホームページに掲載しています。

▽**平成 27 年度の事業募集予定**

◎**３次募集期間**　７月 13 日～８月 12 日（事業実施期間…10 月１日～平成 28 年３月 31 日）

まちづくり１％システム
審査委員会委員を募集します

制度を円滑に進めるため、市民の皆さんから応募された活動を応援する「まちづくり１％システム審査委員会」の委員を募集します。役割は、応募事業の審査・実施事業の評価や制度の運用などについて審議するものです。ぜひ、この審査委員会の委員として、新しいまちづくりに参加してみませんか。

▽**応募資格**　市内に在住する満 20 歳以上の人（議員、公務員を除く）

※現在、既に市の審議会などの委員になっている人はご遠慮ください。

▽**募集人員**　４人程度

▽**募集期間**　４月１日～ 30 日（必着）

▽**委員の任期・会議の開催など**　任期は２年間。会議は年 15 回程度で、主に土・日曜日の日中、平日の夜間に開催予定

▽**報酬など**　１回の会議出席につき、市の規定に基づく報酬（委員長＝１万 2,000 円、委員＝１万円）と交通費（バス代など）を支給

▽**応募方法**　次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参またはＥメールで提出してください。

①住所・氏名（ふりがな）・性別・生年月日・職業・電話番号

②「委員に応募した動機と抱負について」をテーマにした作文（600 字程度）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市のホームページに掲載しているほか、市民協働政策課でも配布しています。なお、応募用紙は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

▽**選考・発表**　応募書類の記載事項を審査の上、選考し、結果は応募者全員に書面で通知します。

▽**制度内容について**　制度の詳細は、市ホームページに掲載しています。

■**問い合わせ・提出先**　市民協働政策課市民協働係（〒 036･8551、上白銀町１の１、市役所２階、窓口 254、☎ 40・7108、Ｅメール shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp、ホームページ http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/seido/ichipercent/index.html）

弘前のいろいろなことについてのクイズだよ。答えはどこかのページに隠れているから探してね！

【質問】

自分たちの地域を考え、まちづくりを行う団体を応援する「市民参加型まちづくり１％システム」。この制度はいつから始まったかわかるかな？

右の３つの中から選んでね。

①平成 10 年

②平成 18 年

③平成 23 年

フォトコレ in ひろさき

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

▽この写真にスマートフォンをかざすと、動画が流れます。

2月19日

鬼神社・しめ縄奉納裸参り

旧正月の２月 19 日、400 年以上続く伝統行事「しめ縄奉納裸参り」が鬼神社（鬼沢字菖蒲沢）で行われました。奉納に先だって行われた「水ごり」では、ふんどし姿の約 40 人の男衆が、観衆の声援を受けながら、冷水を張った大きなたるに何度も漬かって身を清めました。その後地区内の各神社にしめ縄などを奉納し、五穀豊穣・家内安全を祈願しました。

3月5日

沢田ろうそくまつり

相馬地区の沢田神明宮（沢田字園村）で、「沢田ろうそくまつり」が行われました。参拝者らは、境内にある岩屋堂とよばれるほこらの中の岩肌にろうそくを立て、五穀豊穣や家内安全などを祈りました。翌日のろうのたれ具合でその年の豊凶を占う伝統行事で、会場では登山囃子の演奏やミニ炭俵の製作実演も行われ、多くの人でにぎわいました。

ＡＲで動画を見よう!!

ＡＲ動画の視聴方法…① App Store もしくは Google Play で無料アプリ「ＣＯＣＯＡＲ」を検索しダウンロード／②アプリを起動し、ＡＲマークのついた写真にかざす。写真を認識すると動画が流れます。
※ＡＲ（拡張現実）…写真などに、デジタル合成などによって作られた情報を付加し、人間の現実認識を強化する技術／アプリのダウンロードや動画視聴には別途通信料がかかります／ＡＲの有効期間は発行から３カ月です。

ひろさき夢追い人 File.21

鈴木（すずき） 大器（だいき）さん

1962 年、弘前市生まれ
デザイナー

県立弘前南高校卒業。東京の私大へ進学も中退。恵比寿バンタンデザイン研究所デザイン科を経て輸入衣料販売会社に入社。88 年退社後、フリーランスでファッション雑誌のライターやスタイリストなどを経て、89 年、ネペンテスに参加し渡米。アメリカでの商品の買い付けから、オリジナル商品の開発、生産を担当して、99 年に自身のブランド「エンジニアド･ガーメンツ」をスタート。04 年にニューヨークの展示会、デザイナーズコレクティブ参加、同年イタリアの見本市、ピッティ・ウォモに参加。06 年にはイタリア WP 社のブランド「ウールリッチ　ウーレンミルズ」のデザインディレクターに就任、11 年まで担当。08 年、米国 CFDA（アメリカファッションデザイナーズ評議会）と米国雑誌 GQ 主催の、第１回ベストニューメンズウェアデザイナー賞を受賞、日本人初の CFDA メンバーに登録される。

【市民の皆さんへ一言】

両親が他界してからはなかなか地元に帰ることが少なくなりましたが、今は城東に住む叔母が母親代わりで、戻るたびに昔ながらの田舎料理をいつも楽しみにしています。弘前の街は結構変わりましたが、子どものころはそんなに気がつかなかった良さにあらためて感動します。知らなかった弘前の街を昔からの「けやぐ」たちが案内してくれたり、鍛冶町に飲みにいくのは本当に楽しく、標準語、英語と変わっていった言語も、やっぱり皆と話す津軽弁が一番しっくりきます。ねぷたの季節にはなかなか合わせて帰ってこられませんが、何年か前に久々に見たときは少年時代を思い出して涙が出てきたほど。相変わらず昔の佇まいが残る美しい弘前は、いくつになっても自分のルーツなんだと感じます。急につがる漬けと茶屋の餅が食べたくなりました。僕らがニューヨークで作る洋服は、弘前駅前のお店「サンライズマーケット」に取り扱って頂いています。機会があればぜひ見に行ってください。

◎このコーナーでは、当市にゆかりが深く、各界で活躍している人や団体を紹介します。